

# 府川自治会 「お茶会」

開催日 11月8日(土) in 府川公民館

「お茶会」には、16名の方が参加されました。はじめに保健師さんの指導のもと、指の運動・2人ジャンケンや間違い探しなど指と頭を使ったゲーム。合間には全員での肩もみでスキンシップ。合唱・お茶を飲みながらのおしゃべり休憩を挟み、最後に南蔵院 林覚乗住職のDVDを観賞しました。短い時間ではありましたが、中身の詰まった、そして参加者・サポーター全員が笑顔いっぱいの一時を過ごすことができました。



もっと知りたい!

## わがまち富水

飯田岡地区

富水  
再  
発見!

歴史的遺産

飯田神社 (飯田岡 262 富水駅南約 650m)



晩秋の装いの広い境内と堂々たるお社



富士山大神

古くは小台・新屋・堀之内までを含む飯田郷の産土神(うぶすなかみ)だった。保延2年(1136)八王子大権現を勧請し、祠を若宮耕地に設け、福田寺を別当としたのが始まりという。文和年間(1352~56)の洪水で若宮八幡社は堀之内に移り、当社も福田寺の西に移転した。さらに安政から明治の水害も受けて現在地に移ったという。大正3年(1914)小台・新屋・柳新田の神社を合併したが昭和9年の小台を初めとして分離していった。境内に明治40年の富士山大神碑がある。(参考:『身近にある小田原の史跡』)春の祭礼には、昭和8年に青年団を中心に制作された山車が賑やかなお囃子と共に曳き出される。

### 地区内の馬頭観音と道祖神

#### 【馬頭観音】

飯田岡駅正面左側、坂を少し下った左手に小さな祠を守るように馬頭観音が立ち並んでいる。10基の馬頭観音は大正時代のものが多い。詳しく記した物を見つけられなかったが、道路整備の折にここに移されたものだろうか。



#### 【道祖神】



JA 富水支店の東側、小川との間に『南無妙法蓮華経題目』の碑とともに、寄り添うように2基ならんでいる。右は愛おしい姿がうかがえるが、左はかなりの風化が進んで面影を見るのは難しい。